

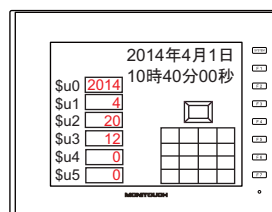
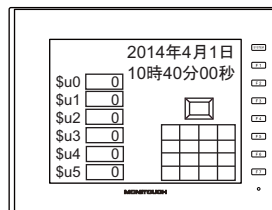
10.4.2 マクロでの補正

マクロ「SYS(SET_CLND)」を使用して PLC1 のカレンダー補正ができます。

1. マクロの定義に従って、任意のアドレスに「年 月 日 時 分 秒」を正しく設定します。
2. スwitchの ON マクロ等で、「SYS(SET_CLND)」を実行します。
PLC1 のカレンダーにカレンダーデータを書き込みます。
補正したカレンダーデータを読み込みます。

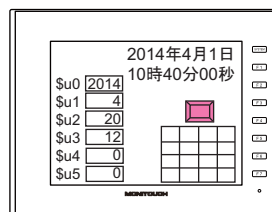
<動作例>

- (1) データを設定する
2014 年 4 月 20 日、12:00:00 に設定
\$u0000 = 2014 (W)
\$u0001 = 4 (W)
\$u0002 = 20 (W)
\$u0003 = 12 (W)
\$u0004 = 0 (W)
\$u0005 = 0 (W)

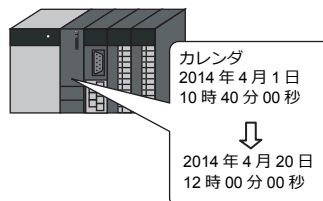


- (2) マクロを実行する
PLC1、局番 1 のカレンダーを
2014 年 4 月 20 日、12:00:00 に設定

[ON マクロ編集]
SYS(SET_CLND) \$u0000

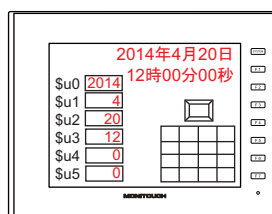


PLC のカレンダーを書き換える



カレンダーの読み出し

PLC2 ~ 8 のカレンダー補正には、
PLC_CLND、SYS (SET_SYS_CLND) を使用
します。
『マクロリファレンス』を参照してください。



10.4.3 ローカル画面での補正

ローカル画面の [SRAM / 時計] 設定画面で設定できます。

- * 内蔵時計を使用している場合にのみ補正可能です。

☞ 設定方法は、『V9 シリーズ トラブルシューティング / メンテナンスマニュアル』を参照してください。